

福祉人材センター × 介護福祉士会



ふくし・かいご通信

発行：社会福祉法人北海道社会福祉協議会
北海道福祉人材センター ☎011-272-6662

2025
5月
No. 46



北海道福祉人材センター
HPリンク

北海道福祉人材センターでは、一般社団法人北海道介護福祉士会の協力を得て、福祉・介護に関する基礎知識や日常に役立つ情報を定期的に発行しています。

今月のテーマ

「現場で働く私たち」

一般社団法人北海道介護福祉士会 後志支部 沖崎 真悠 氏
社会福祉法人溪仁会 ケアプランセンターさつき 介護支援専門員



◆今の職場を選んだ決め手

私の社会人としてのスタートは幼稚園の先生でしたが、自分自身おばあちゃんっ子だったこともあり、お年寄りとの関わりにも興味がありました。「子どもと関わる仕事からお年寄りと関わる仕事」に変わり、年齢のギャップは大きかったですが、どちらもご家族と関わるのは同じ。人と関わる仕事としてはあまり差を感じませんでした。

はじめての福祉の仕事は、入浴介助のパートでした。ここの職場の魅力は、同じ敷地内に様々な事業所が入っている為、いろいろな部署での経験ができ、情報交換（時には困ったことの相談など）ができることだと思います。過去には、様々な部署を経験する中で、もしかしたら自分は通所系での勤務が向いているのかもと思い始め、同時に他の通所施設も経験してみたいという思いも生まれ、今の職場を一度退職して、町外にある少人数の通所介護事業所で数ヶ月の勤務、また別の町にあるリハビリ特化型の通所介護事業所で1年ほど勤務して、今の職場にケアマネジャーとして復帰しました。戻ることとなったきっかけは以前お世話になった所長にケアマネジャーの資格を取得したことを報告すると、「私の事業所においでよ！待ってるからね！」と声をかけていただき、居宅ケアマネとしての新たな一歩をまたこの職場で踏み出そうと決心しました。

◆働きながらのキャリアアップ

介護職員として勤務した際に、専門学校で取得した保育士資格が児童福祉法に基づく福祉の国家資格となる為、正職員として勤務することになりました。しかし、介護の国家資格は介護福祉士。きっとこの先も長く勤めることを考えると、介護福祉士にチャレンジした方がいいかなと思い、介護福祉士の国家試験を受ける決心をしました。

当時は実務経験3年で受験できましたが、実技試験に自信がなく、上司に相談したところ、3年間の実技試験が免除になる制度や教育訓練給付制度を教えてください、安心して勉強ができ、1回の試験で合格することができました。

現在は実務経験だけでは受験できず、研修等を受けなければならないですが、その際の費用や国家試験の受験料などを助成してくれたり、受験対策講座の開催などを行ったりする職場も増えてきていると思いますので、昔より気軽に安心してキャリアアップのチャレンジができるのではと思います。

更に、介護福祉士からキャリアアップできる資格の一つとして介護支援専門員（ケアマネジャー）資格があります。

私は通所施設勤務の経験が長かった為、居宅ケアマネジャーが作成するケアプラン等の書類を確認することが多くありました。その際、ただ書類を見るだけではなく、ご利用者がどのような生活を希望しているのか、その為にケアマネジャーがどう考え、ケアプランを作成したのか等、自分自身理解した上で書類を見た方が良いなと思い、自分の勉強の為に介護支援専門員実務研修受講試験に挑戦しました。介護分野だけではなく、医療分野や障がいの分野など幅広い知識が必要となり、3回目の挑戦で合格しました。



◆現場の変化 介護ロボット、ICT の導入

今の職場を一度退職した時期は、ちょうど ICT の導入を始め、介護ソフトの使用方法などで試行錯誤している段階でした。

そこから2年ほど経ち、再び今の職場に戻ると、介護ソフトの活用や移乗用のリフト、200人分の情報を登録ができて更に BGM を流したり声をかけたりしてくれる歩行器、様々な場面でのタブレット、ノートパソコンの活用等、かなり現場が変化していて驚きました。介護福祉士会の支部研修で様々な介護ロボットの紹介や実際に移乗時に身体の負担を軽減してくれるベルトを装着して体験する研修も受けたことがあります、年々進化しており、ご利用者の負担はもちろん、今は実際に介護するご家族、介護職員の負担軽減のための工夫がされているものが増えています。



◆多様な人材の活躍



介護の人材不足は深刻化しており、実際に介護業務は入らずに見守りや食事・水分の提供、清掃など、身のまわりの業務を主に行う職員や、外国人技能実習生の採用をする施設が多くなっています。

所属施設でも始めは外国人等の方々の採用に現場では何となく抵抗があったり、どう接していいかわからなかったりしていたのが、今ではさほど違和感なく業務できているのではないかなと感じています。よく廊下でご利用者と接している外国人技能実習生を見かけますが、とても日本語が上手で、すれ違う際も「お疲れ様です」と笑顔で挨拶してくれますし、ご利用者とも雰囲気よく会話されています。

◆施設ごとの働き方や求められるスキルの違い

介護老人保健施設の入所担当の頃は、フロアごとに医療度が高い方や介護度が高い方、認知症状が進んでいる方、比較的自立されている方等の色があり、全部のフロアを経験させていただきました。その中で例えば自立されている方に、認知症状が進んでいる方と同じように接すると、言葉の内容によっては時に「私はそんなにボケていない！」など、ご利用者の気分を悪くさせてしまうこともあったり、逆に認知症の方へ自立の方と同じような対応をすると、なかなかこちらの思いがご利用者に理解してもらえなかったり…とフロアを異動する度に戸惑いを感じました。

通所リハビリテーション施設に異動した際は、ご利用者は在宅生活を送られていることもあり、時には難しい相談を受けることもあり、返答に困ってしまうこともありました。

また、ご家族と関わることも多く、直接相談を受けることもありました。少人数の通所介護事業所では、少人数ならではの、ほのぼのとした空間の中でご利用者それぞれがのんびり過ごしたり、職員も同じテーブルに座って、ご利用者と会話しながら記録業務をしていたりと、大人数の通所リハビリテーション施設とは違った経験ができました。



リハビリ特化型の通所介護事業所では、運動をメインに通われる方がほとんどなので、直接的な介護業務はあまりありませんでしたが、一緒に身体を動かし、気になる痛みや違和感を解消するために、どのような体操がいいのかご利用者と一緒に考えたり、職員全員でミーティングをし、定期的に体力測定を行い、ご利用者の身体の動きが見た目でも数値でも良くなっているのがわかると、ご利用者含め全員で喜びを感じることができました。

それぞれ別の町にある事業所でしたので、ご利用者の雰囲気や接し方の傾向も、地域で少し異なっているように感じられ、その点でも新鮮で、勉強になることもありました。



現在は居宅ケアマネジャーとして勤務していますが、定期的に訪問し、ご利用者やご家族とお話する中で、相談を受ける内容も今までの現場とは違い、求められることがご利用者やご家族の今後の人生に関わることも多く、ケアプランを作成する上で責任の重大さを感じますし、時には言いにくいことも伝えなければならぬので、心苦しく思います。そして、ご利用者やご家族とサービスを提供する現場との仲介役の役割を担っている為、現場に無理をお願いしなければならない時もあり、現場での経験があるからこそその葛藤もあります。しかし、現場の方々がご利用者の為に日々業務にあたってくださることで、ご利用者の生活の質の向上に貢献でき、それが結果としてご利用者の自立支援に繋がり、よりよい生活を送れるようサポートできることに、大きなやりがいを感じることができると思います。私もご利用者、ご家族に寄り添い、日々業務にあたっていきたいと思っています。

◆読者へのメッセージ

介護と聞くと、正直まだマイナスなイメージが勝ってしまいましたが、医療と同じで介護も日々進化しており、SNS を活用して各施設が介護現場の魅力を伝えられる時代となりました。ぜひ気になる施設がSNS をやっているか検索して、覗いてみてくださいね！

社会福祉法人溪仁会 ケアプランセンターさつき

[法人・事業所の紹介]

住所：北海道岩内郡岩内町字野東 69 番地 26 コミュニティホーム岩内

種別：指定居宅介護支援事業所

設立年：2012 年 5 月 1 日

職員数：2 名

ホームページ：<https://www.keijinkai.com/shafuku/c-iwanai/service/careplancenter/>



法人の経営理念

1 安心・安全

ご利用者に対して、個人の尊厳に配慮した、質の高い安心・安全なサービスを提供することを目指します。

2 信頼・満足

ご利用者、ステークホルダー（利害関係者）職員から信頼され、満足される事業展開を目指します。

3 地域に貢献

地域社会と連携、協働を図り、地域の活性化、まちづくりに貢献することを目指します。

■岩内コミュニティの丘

「Instagram」 https://www.instagram.com/iwanai_keijinkai/

 社会福祉法人 溪仁会

岩内コミュニティの丘について

社会福祉法人溪仁会のさまざまな施設や福祉サービスが集まった総合福祉エリアです。

岩内コミュニティの丘～岩内岳山麓のふもとに位置し、南にニセコ連峰、北に市街地や日本海・積丹半島を望む景観に恵まれた環境にあります。

より良い福祉サービスの充実を目指し、地域社会に貢献し皆様に愛されるネットワークづくりに取り組んでおります。



一般社団法人北海道介護福祉士会

介護福祉士の職業倫理の向上、介護に関する知識技術・
経験を深めて資質向上を図り、北海道の福祉の推進に
寄与している団体です。 ★ 新入会員募集中 ★

TEL&FAX 011-222-5200



ホームページ
はコチラ



入会のご案内
はコチラ

 **福祉・介護の職場体験事業**



福祉の お仕事体験 してみませんか？



参加費
無 料

交通費
支 給

道内各地で
開 催

学生・主婦
シニア
どなたでも



まずは、お気軽にお問い合わせください

 北海道社会福祉協議会
北海道福祉人材センター

●体験日数・時間

日数：1人あたり10日以内（連続していなくても可）

時間：1日あたり5、6時間程度

→お申込みフォーム

●体験内容

施設利用者の介護、介助の補助、施設利用者との交流（話し相手）、日常業務の補助 等

ご感想入力フォーム



「ふくし・かいご通信」をお読みいただきありがとうございます。
皆さまからのご感想をお待ちしております！！

北海道福祉人材センターでは、福祉職場への就職に関する相談を
随時受付けております。お気軽にお問い合わせください。

TEL 011-272-6662



発行：社会福祉法人北海道社会福祉議会
北海道福祉人材センター